

令和6年度

小学部概要



I 小学部の目標

- (1) 児童一人一人の実態を把握し、障害や発達段階、特性に応じた指導と支援の工夫に努め、主体的に学習に取り組む力を育てる。
- (2) 健康や体力の維持増進を図るとともに基本的な生活習慣の習得と定着を目指し、自分でできることを増やす。
- (3) 体験的な活動を通して周りの人とのかかわりを豊かにし、一緒に楽しく活動できる力を育てる。
- (4) 家庭・地域社会・関係諸機関との連携及び交流教育を推進する。

2 児童数及びクラス数（令和6年5月1日現在）

単位：人

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	訪問教育	計
男	10	12	18	13	14	13	0	80
女	3	10	5	13	4	10	2	47
計	13	22	23	26	18	23	2	127
クラス数	2	4	4	4	3	4	1	

3 時間割

<1年生>

<5年生>

	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
8:50	1	着替え チャレンジタイム 朝の会					1	着替え チャレンジタイム 朝の会				
9:40	2	グループ学習(国語・算数)					2	生活	体育	音楽	体育	音楽
10:30	3	図画 工作	音楽	生活	生活	体育	3	グループ学習				
11:15	4	生活			図画 工作			4	図画 工作	生活	生活	生活
12:00		給食 歯みがき 清掃						給食 歯みがき 清掃				
13:20	5	クラス	自立 活動	生活	自立 活動	クラス	5	特別 活動	自立 活動	グルー プ学習	自立 活動	生活
14:05	6	着替え 帰りの会					6	着替え 帰りの会				
15:00												

スクールバス 15:00 発

4 指導の実際

児童の実態に即した指導形態、グループ編成、教材・教具などを工夫しながら、発達段階に応じた指導や支援を行う。

(1) 日常生活の指導

衣服の着脱や整理、食事や排せつなど、日常生活に必要な基本的な生活習慣の確立を目指し、日常生活の流れに沿って指導をする。

(2) 教科の学習

一人一人の実態に即した学習を進めている。生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育など、段階的・継続的な指導の中で、学習内容の定着を図っている。国語、算数などの学習では、言葉、文字、数などの指導をいろいろな教材・教具を使い、児童の興味・関心を高めながら実態や特性に応じて小集団や個別による学習を行う。

(3) 自立活動

個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達のための基盤を培う学習である。

健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーションの6つの内容に区分されている。指導にあたっては、これらの中から一人一人の児童に必要とされる内容を選定し、それらを相互に関連付けながら、具体的に指導内容を設定して行っている。

5 訪問教育

- 障害が重度重複であり、通学が困難な児童に対して、教員が家庭に訪問して授業を行う。
- 週3回、1回の授業時間は2時間。 9:30~11:30 13:30~15:30
- 学校に登校し、行事に参加したり、該当学年の児童と一緒に授業を受けたりする「スクーリング」がある。

6 学校・学部の行事予定 感染症予防対応としての延期や内容変更あり

【学部集会】

大きな集団での活動に参加することで他学年との交流を深める。

月	学部集会名	活動内容
5月	1年生と仲良くなろう会	新入生紹介、レクリエーションなど
2月	6年生を送る会	卒業生紹介、各学年の発表など

【遠 足】

公共施設で友達や教師と楽しく過ごし、マナーや約束を守って行動できるようにしている。

実施日	学年	目的地
10月	1年	霞ヶ浦総合公園
6月	2年	こもれび森のイバライド
6月	3年	成田ゆめ牧場
6月	4年	つくばエキスポセンター

【宿泊学習】

宿泊施設での様々な活動や自然体験を通して、友達同士のかかわりをより豊かなものにし、集団活動の楽しさを味わうことができるようにしている。

学年	期 日	活動場所
5年	10月 1泊2日	さしま少年自然の家

【修学旅行】

見学及び宿泊を体験することで視野や見聞を広げるとともに、学年集団としてのよい思い出づくりができるようにしている。

学年	期 日	活動場所
6年	10月 1泊2日	東京千葉方面

【校外学習】

身近な社会に関心を持ち、将来の家庭生活や社会生活に必要な内容を、実際的な活動や経験を積み重ねていくことで着実に身に付ける。



学年	実施月	目的地（内容）
2	10月	「なかよく遊ぼう」牛久市：牛久自然観察の森（公共施設の利用、自動販売機の利用）
3	10月	「図書館に行こう」美浦村：図書館（公共施設の利用）
4	11月	「まち探検をしよう」稲敷市：ダイソーカスミ阿見店（買い物）
5	6月	「買い物へ行こう」牛久市：JR 荒川沖駅⇔JR ひたち野うしく駅（交通機関の利用、買い物）
	12月	「会社見学」稲敷市：さくら自動車（働く人を知ろう）
6	6月	「買い物をしよう」取手市：アトレ取手（公共施設の利用、買い物、レストランの利用）
	11月	「消防署へ行こう」稲敷市：いなほ消防署（働く人を知ろう）

【交流教育】

将来にわたって地域の一員として生活していくために、地域に住む方々や同年代の児童生徒とともに活動する機会がもてるようにしている。

○ 地域交流・学校間交流

	学年	交流団体
地域交流	1年	美浦村お話会「虹」
	2年	県立牛久高等学校
	3年	美浦村生涯学習課指導サポーター
学校間交流	4年	牛久市立向台小学校
	5年	阿見町立君原小学校
	6年	河内町立かわち学園

○ 居住地校交流・・・令和6年度希望者（35名）

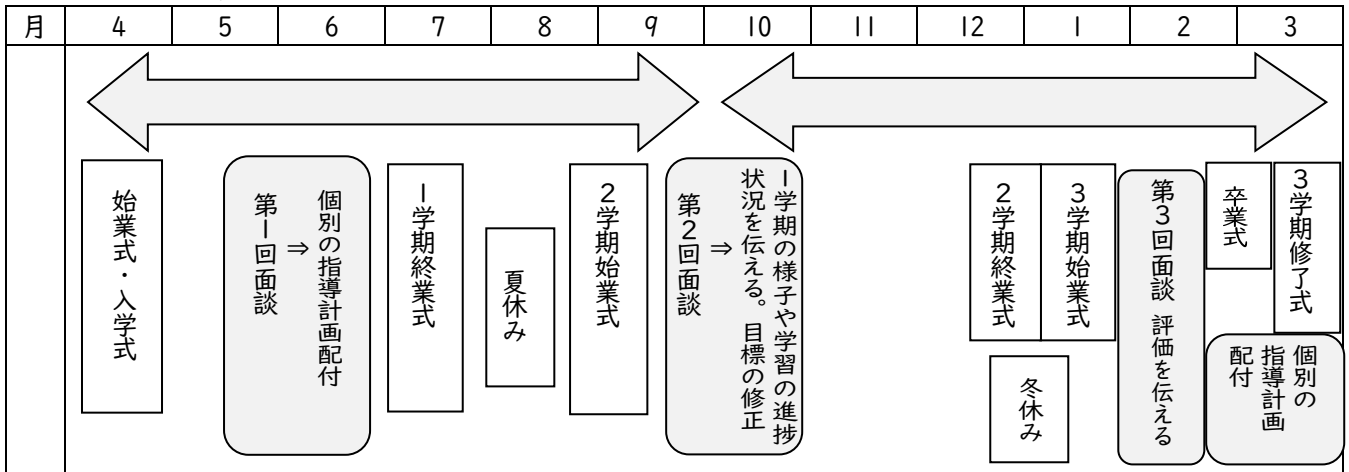
市町村名	小学校名
稲敷市	新利根小学校 沼里小学校 あずま東小学校
美浦村	安中小学校 木原小学校
阿見町	舟島小学校 あさひ小学校 本郷小学校 阿見小学校
牛久市	中根小学校 おくの義務教育諸学校 牛久小学校 牛久第二小学校 ひたち野うしく小学校
龍ヶ崎市	馴柴小学校 馴馬台小学校 城ノ内小学校 川原代小学校
利根町	利根小学校
河内町	かわち学園

7 個別の指導計画と個別の教育支援計画

(1) 個別の指導計画について

個別の指導計画は、児童の視点に立って一人一人の教育的ニーズを把握し、指導内容や方法を明らかにするもので、その備わっている力を高め、生活や学習上の課題を改善するために、保護者（本人）と担任とが一緒に話し合い、作成する。作成にあたっては、個人面談等で保護者の方と児童の指導について話し合い、共通理解を深めながら日常の指導に活用している。また、一貫した指導を提供できるように評価し、次年度へと引き継ぐ。

【個別の指導計画の年間スケジュール】



(2) 個別の教育支援計画について

個別の教育支援計画は、障害のある児童の一人一人のニーズを正確に把握し、適切な支援を行うために作成している。具体的には、プロフィール、障害名、交付手帳、服薬・通院、生活・健康上の配慮事項、学校・家庭での様子、周辺地域とのかかわり、本人・保護者の願い、支援課題などをまとめたものである。本人、保護者の方の同意をもとに、在校生の関係機関（福祉、医療、地域など）との連携を図るときの資料として活用している。

8 服装

- (1) 通学服 特に指定はありません。動きやすくて汚れてもよいもの靴、履きやすい運動靴など。
- (2) 運動着 学校指定のものがありません（ジャージ上下、半そでシャツ、ハーフパンツ）
- (3) 給食着 エプロン、おしぼり、ランチョンマット、スプーン、フォーク、箸など

9 集金について

- (1) 給食費 1食につき330円
- (2) 諸経費 必要な額を徴収。（PTA会費、教材費、校外学習費、学部行事、写真代など）
- (3) 積立金 4年生から集金する。宿泊学習費や修学旅行費、卒業関係費用とする。
- (4) 就学奨励費

特別支援学校へ就学する児童生徒への特別な事情を考慮して、その就学に要する経費の一部を国及び県が補助することにより保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図る。

※ 保護者の経済状況(所得)に応じて支給されます。

